

高度耐性ウイルス感染患者のレジメンを簡素化する新薬の使用

- 治療レジメンの簡素化のために、治療歴および耐性検査結果を確認する必要がある^{1,2}。
 - マラビロク使用を検討する場合、過去の指向性検査結果は有効ではない場合があるため、指向性検査を依頼すべきである（R5ウイルス vs X4ウイルス）。
 - 多剤耐性HIV感染患者については、HIV薬剤耐性の専門家への相談を検討する。
- 活性が高いと予測されるレジメンを選択すべきである。
- 同じ薬剤クラス内のARVへの変更は簡単であり、VFのリスクも低い^{3,4}。
 - これまでに獲得した耐性が、切り替え後のレジメンの効果に影響を与えないようにするため、現在および過去の耐性検査結果を考慮する。
 - 錠剤数の負担を減らす配合剤や忍容性が良好、または強力な新規薬剤の使用を検討する。
 - rtvを併用するPIが含まれるレジメン使用患者には、コビシスタットとPIの配合剤が適切である。
- クラス外への変更は慎重に検討しないと、特に新しいレジメンで耐性バリアが高いARV（すなわち、rtvを併用するPI、ドルテグラビルまたはビクテグラビル）を使用しない場合には、失敗のリスクが高くなる可能性がある^{5,6}。